

船橋市社会科セミナー通信 第133号

10.27土報告

勉強会会場はいつもの「プラウドタワー船橋」。

今回の出席者は、会場担当で事務局長の**大野 肇**先生(習志野四中)・**小倉隆志**(浦安市教委)・**鎌形 順一**(行田中)の各先生と会長の**池田**(習志野台中で初任者指導)の**合計4名**。今回は残念ながら、目標の10名に遠く達することができませんでした。

併せて今回で、**24関中社研&千社研に向けた「授業力向上勉強会」の32回目(最終回)**を行いました。

1本目:浦安市「立志塾」の石巻訪問

小倉隆志先生(浦安市教委)

浦安市には、浦安市教育委員会主催で浦安市8中学校の中学生リーダー育成のために「立志塾」という活動があるそうです。

「浦安市立志塾」は本年度の活動として、この夏、8/20~22の2泊3日で宮城県の石巻市を訪問して来ました。今回の訪問先が石巻になったのは、浦安市は東日本大震災で液状化などの大きな被害を受けましたが、地震と津波で大きな被害を受けた東北地方の都市を訪問して、実際の被害の様子をその目でみて、現地の方の生の声をお聞きすることが、浦安から将来のリーダーに期待される中学生にとって、大変貴重な体験になるに違いないこと、できれば、浦安市の人口とほぼ同じ16万人の都市の石巻市がいいとの、市長のお考えで決まったそうです。

小倉先生は、「立志塾」の実行委員として、この訪問に同行したとのことで、その時のことを本セミナーで報告してくれました。

(以下は、報告のなかから池田がまとめたものです。)

1. 訪問者

浦安市8中学校から1校3名ずつで合計24名の中学生と、市長、教育長と、生徒の引率者として実行委員ら10名のメンバー。

2. 主な訪問先と体験

①「石巻日々(ひび)新聞」の武内氏

「石巻日々(ひび)新聞」は、石巻市のローカル新聞社です。東日本大震災で新聞社が津波の被害を受け、印刷機などが使えなくなったにもかかわらず、



震災直後、ほとんど情報らしい情報も入らず不安に陥っている被災地の人々に震災の様々な情報を届けるために、模造紙に手書きの壁新聞を毎日発行し続けたことで、ご承知の方も多と思います。

武内氏には、東日本大震災の時の映像を見せてもらった他に、被害の大きかった地区を案内してもらって、当時の被害の様子などを聞きました。

②渡波(わたのは) 地区の仮設住宅を訪問しそこの方々との交流

仮設住宅の方には家の中まで案内してもらいました。それぞれの方々の東日本大震災体験を話してもらいました。渡波(わたのは) 地区では、海上に船などの石油が漏れ出し、それに火が付いて海面が一面火の海になったそうです。「目の前の光景が本当に起こっている現実の世界だとは思えなかった」との感想もありました。「前にいた所にはいたたまれなくて帰れない」という声もありました。みなさん悲惨な体験をしているのですが、あまりにも生々しい話は避けているようでした。「大丈夫との思



い込みが危険」との声もありました。生徒たちにとって、ここの方々との交流が最も鮮烈でもっとも忘れ難い体験となったようです。

③ワカメ養殖の齋藤さんの話

齋藤さんは、津波に備えて船を沖に出していて東日本大震災の大津波に遭いながらも助かったそうです。乗り越えた壮絶な体験を話してくれながら、悲惨な体験は教訓としてこれからの未来に生かしたいと話していました。

④社会福祉協議会の方の話

社会福祉協議会では、震災後に来てもらった大勢のボランティアの人達の受入やとりまとめの仕事をしたそうです。思ったことはボランティアと言っても実に様々な人がいたそうです。本当に被災者のことを考えて来てくれた人が大多数ですが、中にはこれがボランティアか疑問の人もいたそうです。ある人は自分のテントが駄目になったと社会福祉協議会にテント代を請求してきたそうです。本当のボランティアのあり方について考えさせられたそうです。また、今後の街づくりをどうするかの話し合いには子どもたちを参加させたいと考えているそうです。

3. 訪問の後で

生徒たちは浦安市にもどってから、訪問のまとめをし、全体の報告会と各学校ごとの報告会をもちました。生徒たちの感想では、どの子にとっても今回の訪問は、テレビなどを観ていたものと実際に訪問して見ることの違いや大切さ、現地の人達の体験や思いを直に伺うことの大切さを感じ、自分たちの体験や見聞したことをできるだけ伝えていきたいと考えたようです。

2本目: 関フ口大会の授業研に向けて

鎌形順一先生 (行田中)

いよいよ「24関中社研&千社研の船橋大会」が11月8日(木)に迫ってきました。

鎌形順一先生は、行田中学校会場の授業者の一人となっていますが、当日を迎えるにあたって少しでも見に来ていただく方々に喜んでもらえるような授業をしようと、最終的な学習指導案の修正について本セミナーに諮ってくれました。

鎌形順一先生の授業は、「単元：南アメリカ州～開発の進展と環境問題、本時：アマゾンの開発と環境保護の両立」についての授業です。

すでに学習指導案は印刷され冊子になっています。それを基に10月24日の中教協で先生方を相手に模擬授業を行いました。その結果授業展開についていくつかの意見が寄せられましたので、それらを取り入れた修正を図るという趣旨で、今回の社会科セミナーにかけてくれたものです。

こんなに直前まで、少しでもいいものをと考える鎌形先生の情熱に本当に敬服させられました。

3本目：知っ得ニュース 8

池田義光

[1] アメリカ大統領選挙について、今、何が問題になっているのか？

1. 日本の首相とアメリカの大統領との違いは？

- (1) 日本の首相は元首(一国を代表する資格を持った首長)ではないが、アメリカの大統領は元首。
- (2) 日本の首相は国会議員の中から国会議員の選挙で選ばれ、議会によって辞めさせられることがある[議院内閣制]。アメリカの大統領は事実上国民による選挙で直接に選ばれ、4年間の任期が終わるまでは辞めさせられることがない[大統領制]。
- (3) アメリカの大統領は議会から独立して強い権限を持ち、議会が可決した法案を差し戻すことができる。

2. アメリカ大統領選挙のしくみは？

- (1) 各党の中から候補者がまず選ばれ、選ばれた候補者に対して有権者が投票する。大統領選挙の投票日は11月6日。
- (2) 大統領選挙の流れ
 - ① 有権者が州毎に大統領候補に投票する
 - ② 最多得票になった大統領候補者はその州の大統領選挙人を全て獲得する
例：フロリダ州は29人、ネバダ州は6人
 - ③ 全米の大統領選挙人538人の過半数の270人を獲得すると大統領に当選。

3. 今回の大統領選挙の候補者はどんな人か？

候補者	バラク・オバマ氏	ミット・ロムニー氏
年齢と出身	51歳、ハワイ州	65歳、ミシガン州
政党	民主党	共和党
主な経歴	イリノイ州上院議員、弁護士、現職大統領	前マサチューセッツ州知事、投資会社経営者、モルモン教徒
家族	ミシェル夫人と娘2人	アン夫人と息子5人
副大統領候補	ジョー・バイデン氏(69)	ポール・ライアン下院議員(42)

4. 各候補の主張は？

候補者(政党)	オバマ氏(民主党)	ロムニー氏(共和党)
政府に対する考え	大きな政府	小さな政府
景気・雇用	公共事業などの景気対策を継続し、中間層を支える	法人減税などで中小企業を育て、雇用を生む(4年間で1200万人)
税・財政	富裕層への所得税減税を年末で打ち切る。財政による景気刺激はまだ必要。	富裕層にも減税を継続。歳出を大幅カット

医療保険	オバマケアを拡充	オバマケアを撤廃
金融規制	金融機関の透明性を高め、リスクのある投資をさせないために規制を強化	オバマ氏の金融規制強化法を撤廃
核兵器	廃絶を究極の目標として削減を進める。包括的核実験禁止条約の発効に努力	ロシア・中国への対抗上、維持が必要
軍事	新たな脅威に対応する柔軟な軍をめざす。軍事予算は厳しく削る。アフガン撤退を急ぐ	世界最強の軍事力を維持。大幅な削減に反対
外交	国際問題に多国間の協調で対応。国連など国際機関を重視	単独で国際問題に対処する権利を留保（単独行動主義）
結婚や中絶	同性婚、妊娠中絶の権利を支持	同性婚反対、胎児の生命権を支持
移民	不法移民に市民権の獲得の道を	不法移民への恩赦に反対

[4] EUになぜノーベル平和賞が与えられるのか？

EU(ヨーロッパ連合)は、第1次・第2次世界大戦に代表されるヨーロッパでの戦争を繰り返さないという理念の基にできた共同体。ノーベル平和賞委員会のヤグラン委員長は、かつて幾度となく血を流し合ったドイツとフランスが手を取り合ったことや、東欧諸国の加盟で「冷戦」時代の東西分裂が終わったことを評価し、「欧州の大半を戦争の大陸から平和の大陸に変えることに貢献した」と讃えた。

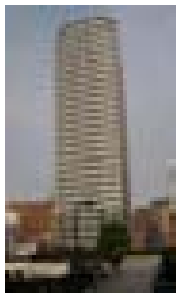
11月セミナー予定 11月24日(土)

＜勉強会＞は、プラウドタワー船橋1階入口 3時集合

1. 知っ得ニュース9 (池田義光) 2. これからの社会科 (藤木信弘)
3. 宮城県石巻の状況報告 (小倉隆志)

※終了後 **船橋駅周辺で 6:30頃から＜懇親会＞**

⇒出欠席をできれば **2週間前までに池田宛てにお知らせください**



プラウドタワー(船橋橋北口)

出欠席の連絡は当方からの問い合わせの前にいただけると助かります。 ikeyoshi.24@gmail.com
または chi-den...gikou_ikeyoshi@docomo.ne.jp

お知らせ： 社会科セミナーのホームページができました

ただいま、ネット上に公開されております。

「次回の社会科セミナーのお知らせ」や「社会科セミナー通信のバックナンバー」「韓国見聞録やベトナム見聞録」も公開されておりますので是非ごらんください。

URLは⇒ <http://syakaika.s98.xrea.com> ですので、直接入力してみてください。

今後は、その HP(ホームページ) から ikeyoshi.24@gmail.com 宛てに出欠席の返事をお願いします。